

諸外国の子ども虐待対策から

子ども虐待の予防と支援を考える

○児童虐待防止法（2000 年）ができて以来、児童虐待の防止に社会を上げて取り組んできましたが、児童相談所への相談（通告）件数は増加する一方で、国が把握する死亡数も減らない状況が続いています。

こうした中、本年 9 月に名古屋で開催された世界子ども虐待防止学会では、「虐待を水際で阻止し子どもを保護する介入」から「虐待の発生予防、再発予防、世代間連鎖を予防する」虐待予防の取組みの重要性が議論されました。

○今回の研修では、アメリカ、イギリス、北欧における児童虐待の現状とその対応をご紹介し、子ども虐待の予防と支援について考える研修を企画しました。母子保健や児童福祉、教育等に従事する多くの方のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成 27 年 2 月 9 日（月）午後 2 時から午後 4 時 30 分
（受付開始：午後 1 時 30 分から）

【会 場】 神奈川県民ホール 6 階 大会議室（横浜市中区山下町 3-1）
みなとみらい線 日本大通り駅 3 番出口より 徒歩約 6 分
JR 根岸線 関内駅南口 又は 市営地下鉄 関内駅 1 番出口より 徒歩約 15 分

【対 象】 医師、保健師、助産師、看護師、教諭、保育士、児童相談所職員等

【定 員】 200 名（先着順）

【費 用】 無料

【申込方法】 裏面「参加申込書」に必要事項を記載し、FAX にてお申し込みください。
※なお、当日は、「参加申込書」を受付にご提示ください。

【申込締切】 平成 27 年 2 月 2 日（月）
定員を超えた場合のみ、事務局よりご連絡いたします。

◆講師◆ 増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター研修部長 臨床心理士）

千葉大学大学院教育学研究科卒業後、千葉市療育センター相談員、情緒障害児短期治療施設「横浜いずみ学園」セラピスト、副園長としてご活躍され、平成 14 年 4 月から子どもの虹情報研修センター（日本虐待・思春期問題情報研修センター）に勤務。平成 21 年から現職。日本臨床心理士会福祉領域委員会社会的養護部会部会長、日本子ども虐待防止学会評議員、子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会委員長、明治大学文学部兼任講師等を歴任。「いっしょに考える子ども虐待」（共編著）明石書店、「虐待を受けた子どもの回復と育ちを支える援助」福村出版等著書多数。

主催／神奈川県小児保健協会

共催／横浜市

<問合せ先> 横浜市こども青少年局こども家庭課 電話 045(671)2455 FAX045(681)0925

FAX 送信先	045 (681) 0925	横浜市こども青少年局こども家庭課 親子保健係
------------	----------------	------------------------

神奈川県小児保健協会

平成 26 年度地域母子保健指導者研修会 参加申込書

「諸外国の子ども虐待対策から子ども虐待の予防と支援を考える」

団体名			
連絡先	電話	()	FAX ()
担当者			

参加者氏名	職 種	所属部署等

<会場案内> 神奈川県民ホール 6階 大会議室



<所在地>
横浜市中区山下町 3-1

<交通>
みなとみらい線
日本大通り駅 3番出口
より徒歩約 6分

J R 根岸線 関内駅南口
又は
市営地下鉄 関内駅
1番出口
より徒歩約 15分